

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	若楠児童発達支援センター 保育所等訪問支援事業			
○保護者評価実施期間	2025年12月1日 ～ 2025年12月19日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○従業者評価実施期間	2025年12月1日 ～ 2025年12月19日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数)	2
○訪問先施設評価実施期間	2025年12月1日 ～ 2025年12月19日			
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	7	(回答数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月16日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	有資格者による訪問が実施できている。 より実践的な助言により、本人、ご家族、訪問先のニーズに応えられている。 必要に応じ医療と連携を図ることが出来ている。	利用児の集団における行動観察と、検査結果等でアセスメントを取り、担任と特性の整理や実践的な支援の助言をおこなっている。電話や訪問にて経過評価をおこない、支援の進捗も把握するようにしている。 自立や参加を本人、家族、担任が実感できる支援を目指している。	

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	未就学時の保護者に対して、家族支援（学習会）等の提案の機会が少ない。	保育所等訪問の目的が、担任への助言や直接支援など訪問先との連携が主となりやすい。 ご家族の就労等の理由で、報告だけの希望が多い。	年1～2回保護者相談会など検討していきたい。